



# 学校だより

2025年(令和7年)5月  
加古川市立野口北小学校

## 高学年の存在が、安心を与える



入学式の翌日から1年生の集団登校が始まりました。幼稚園・保育園・こども園の時は、家の人に送り迎えをしてもらい、中には自動車や自転車に乗せてもらって通園していた子もいたことでしょう。それが、小学校に入学すると、家の人から離れて、小学生だけの集団で自分の足で歩いて通学。一気にレベルが高くなりました。

現在、通学の様子を見てみると、どの登校班もいい状態です。心配していた1年生も、元気に歩いています。不安を抱えていた子もいましたが、日々成長し、自信を持ち始めたようです。班長・副班長がよく頑張っています。全体に声をかけたり、車が通る側と反対に低学年の子を並べたり、1年生に合わせてゆっくり歩いたり、安全に配慮して、責任を持って行動しています。

高学年からすると、自分たちだけで登校する方が気楽だし、早く学校にも着くでしょう。でも、自分たちが低学年の時にしてもらったことを、今度は高学年になってしてあげる。「恩返し」ならぬ、「恩送り」とでもいうのでしょうか。そして、班長や副班長の立場になって頑張っている様子を見ると、「立場が人を育てる」ということを実感いたします。どの子も、いろんな経験をすることで成長していきます。そんな子どもたちを学校・家庭・地域で見守り、支えていけたらと思っています。

どうかよろしくお願いいたします。

校長 小宮 美和

### 1年生をおかえる会



歓迎のクイズにダンス、ゲームにプレゼント…体育館に笑い声と歓声が響き、笑顔があふれていました。